

オーダーシート・投球回数表

大会名 _____

球場名 _____

年 月 日

チーム名		監督	主将	先攻	後攻
打順	守備位置	(フリガナ) 選手名	背番号	控 え 選 手	
1		(フリガナ) 選手名	背番号	(フリガナ) 選手名	背番号
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					

投手の投球回数連絡表

対戦チーム _____

様式-1

投手名	背番号	前試合迄の投球インニング数		次試合の 投球可能 回数	チーム 記録者	審判部 確認者	本部 確認者
		投球インニング	申請回数				
		回 / 3	回	回			
		回 / 3	回	回			
		回 / 3	回	回	備 考		
		回 / 3	回	回	① 大会本部 ② 審判部		
		回 / 3	回	回	③ 対戦チーム ④ 場内放送		
		回 / 3	回	回	⑤ 自チーム 控		
		回 / 3	回	回			

投手投球回数記録表

平成 年 月 日

大会名 _____ 大会 _____ 球場名 _____

対戦チーム名 _____ 責任審判員名 _____

チーム名 _____ 球場責任者名 _____

投手名	背番号	イニング数	投球回数	月 日(翌日・第二試合)	
				投球可能回数	
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回
		回 /3	回		回

◎投球可能回数(休)の場合、捕手としても出場出来ない
◎投手投球回数記録表は当該大会終了まで毎試合終了後責任審判員経由球場責任者に提出すること

【中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン】

試合での登板は以下の通り制限する。(ノーゲーム含む)

1日7イニング以内とし、連続する2日間で10イニング以内とする。また、1日複数試合に登板した投手及び連続する2日間で計5イニングを超えた投手(5イニングは可)、連続3連投の次の日は、投手又は捕手として試合に出場することができない。但し、イニングの端数(0/3、1/3または2/3)は1イニングとみなす。

	一 日 目	二 日 目	三 日 目	四 日 目	五 日 目	六 日 目	七 日 目	八 日 目	九 日 目	十 日 目	備 考
投手A	7	3	休	4	1	7	休	0	7	0	1日目7イニング、2日目は上限3イニングまで、3日目・7日目は投手、捕手として出場できない。
投手B	2	3	2	休	3	3	休	3	2	0	連続3連投の4日目は投手、捕手として出場できない、又、5日、6日で5イニングを超えるため7日目は投手、捕手として出場できない
投手C	3	3	休	1	1	1	休	3	3	休	一日目、二日目、八日目、九日目の合計が5イニングを超えたため3日目10日目は投手、捕手として出場できない。又、四日目から六日目まで3連投しているため7日目は投手・捕手として出場できない
投手D	7	0	0	2 2	休	5	5	休	4	0	4日目のダブルヘッダーで両試合に登板した為、5日目は投手、捕手として出場できない。又、6日目、7日目の2日間で5イニングを超えたため8日目は投手、捕手として出場できない。
投手E	0	3 0	0 2	1	休	5	5	休	0	2	チームがダブルヘッダーの試合であっても片方みの登板であるが3連投で5日目は投手、捕手として出場できない。連続した2日間で5イニングを超えたため8日目は投手、捕手として出場できない。
投手F	2	3 4	休	7	3 休	休	3	2	1	休	1日目2回、2日目複数試合の1試合目は3回で2日間で5イニングを超えていない為、複数試合2試合目は4イニングを上限に投球できるが複数試合登板のため3日目は投手、捕手として出場できない。

※数字は登板イニング数。「休」は当該試合制限回数から翌日の試合まで投手、捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった日(ヤングリーグ)

投手の登板回数記録表 <大会本部・チーム保管用>

チーム名

平成 年 月 日

投手名	背番号	第一日 (月 日)			第二日 (月 日)			第三日 (月 日)			第四日 (月 日)							
		第一試合	第二試合	累計回数	第一試合	第二試合	累計回数	第一試合	第二試合	累計回数	第一試合	第二試合	累計回数					
対戦チーム名	第一試合																	
"	第二試合																	

該当投手	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	備考
投手A	7	3	休	4	1	7	休	0	7	0	1日目は7イニング2日目は上限3イニングまで、3日目・7日目は投手、捕手として出場できない。
投手B	2	3	2	休	3	3	休	3	2	0	連続3連投の4日目は投手、捕手として出場できない、又、5日目、6日目で5イニングを超えるため7日目は投手、捕手として出場できない
投手C	3	3	休	1	1	1	休	3	3	休	一日目、二日目、八日目、九日目の合計が5イニングを超えたため3日目10日目は投手、捕手として出場できない、又、四日目から六日目まで3連投しているため7日目は投手・捕手として出場できない
投手D	7	0	0	2	休	5	5	休	4	0	4日目のダブルヘッターで両試合に登板した為、5日目は投手、捕手として出場できない、又、連続した2日間で5イニングを超えたため8日は投手、捕手として出場できない。
投手E	0	3	0	0	1	休	5	休	0	2	チームが同日複数試合であっても片方のみの登板であるが、3連投で4日目は投手、捕手として出場できない、連続した2日間で5イニングを超えたため8日目は投手、捕手として出場できない。
投手F	2	3	休	7	3	休	3	2	1	休	1日目2回、2日目複数試合の1試合目は3回で2日間で5イニングを超えていない為、複数試合の合計は4イニングを上限に投球できるが複数試合登板のため3日目は投手、捕手として出場できない。

※数字は登板イニング数。「休」は当該試合制限回数から翌日の試合まで投手、捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった日（ヤングリナー）

3日連続大会の場合には、原本を含めて4枚のカーボンに1日目の投手状況を記入し審判・球場責任者に内容確認後に確認印を押し、カーボン紙4枚目を本部に提出する。

2日目には、この様式2を確認し、オーダー表を作成する。又、2日目が終了時点で1日目と同様に記入し審判・球場責任者に内容確認後に確認印を押し、カーボン紙3枚目を本部に提出する。

3日目には、この様式2を確認し、オーダー表を作成する。又、3日目が終了時点で2日目と同様に記入し審判・球場責任者に内容確認後に確認印を押し、カーボン紙2枚目を本部に提出する。

※別の大会が連続して行う場合にも前大会で記入した様式2カーボン紙1枚目を大会主催者に渡し、確認後、オーダー表を作成する。（オーダー表には投球回数制限数を必ず記入すること）

【運用例】